

2025 年度 大学院修士課程 入学試験問題

共通科目「西洋音楽史」60 分

問題A

以下の設問Ⅰ～Ⅴにつき、それぞれ空欄（A）～（E）にあてはまる語句を問題末尾の語句欄より選び、その記号を解答欄に記しなさい。問題文の（A）～（E）欄のうち、特に注記のないものは一般キーワード群から、〈人名〉と注記のあるものは人名群から、また《 》中にあるものは作品名群から選びなさい。各設問の対応する音源と記された欄には、試験後半で聴く音源について、音源の提示の際にアナウンスされる番号を記しなさい。

Ⅰ：カトリック教会のミサの式文は、常に同じ言葉による（A）と、ミサごとに言葉が変化する固有文に、区別することができる。一般にミサ曲という曲種は、（A）のうちの5章、すなわち（B）、グローリア、クレド、サンクトゥス、アニュス・デイから構成される。

西洋音楽史において、一人の音楽家が全曲を作曲したミサ曲の最古の事例として知られる作品は、（C）世紀のアルス・ノヴァの作曲家（D）〈人名〉による《ノートル・ダム・ミサ曲》で、〈イテ・ミサ・エスト〉を含む6楽章から成る対応する音源。テノール声部の旋律には（E）が用いられている。

Ⅱ：ルネサンスの時代には、各国語の世俗歌曲が発展した。（A）語の世俗歌曲のシャンソンでは、（B）〈人名〉が作曲した《鳥の歌》がよく知られているが、これは鳥のさえずりの模倣を取り込んだ作品である。

イタリアでは、文学的に価値の高い詩を用いた（C）というジャンルが興隆した。カルロ・ジェズアルドによる《私は死んでゆく》では、不協和音や半音階の使用など、詩の内容を生かす曲付けがなされている対応する音源。

16世紀末から17世紀にかけてのイングランドでは、（D）を伴奏楽器に用いる歌曲が人気を博した。このジャンルの代表的な作曲家には、《流れよ、わが涙》を書いた（E）〈人名〉がいる。

Ⅲ：バロック時代のコンチェルトには、大小2つの合奏による（A）と、単一の独奏楽器とオーケストラによる（B）がある。

（B）の発展に貢献した作曲家としては、イタリアの（C）〈人名〉が挙げられる。《調和の靈感》の第6番はその代表的な作品の1つであるが、冒頭楽章はトゥッティとソロが交代する（D）形式になっている対応する音源。

（B）の独奏楽器として最も好まれたのはヴァイオリンであったが、J.S. バッハは、通常は（E）のパートを担当する楽器であったチェンバロを独奏楽器に用いて、チェンバロ協奏曲を作曲した。

Ⅳ：19世紀のドイツ語圏では、（A）〈人名〉が、音楽が劇に優先される従来のオペラのあり方への批判に基づき、両者が高次に一体化された作品を生み出した。代表作の1つにケルト伝説に基づく《B》が挙げられるが、その台本は（A）自身が執筆したもので、音楽においては、登場人物や概念などを表現・象徴する（C）が多用され、有機的な展開がなされている対応する音源。

同時期のイタリア・オペラにおいても、（D）〈人名〉が音楽と劇の統合を目指して創作を行った。中期の傑作である《リゴレット》や《E》は、社会から疎外された人々に光を当てたもので、ヴェリズモ・オペラの先駆的な例と見ることができる。

Ⅴ：1960年代には、前衛音楽の発展が頂点を極めた。セリー音楽が後退していくなか、注目を集めたのは、ある範囲の音高をもった音を同時に演奏する（A）の技法である。（A）を用いた作品としては、クシシュトフ・ペンデレツキの《広島に犠牲者に捧げる哀歌》がある。

一方で、この時期には、近代の西洋音楽において共有されていた「進歩」という価値観そのものが、問い直されることとなった。そのなかで、マーラーやドビュッシーなどの過去の音楽作品をカラーージュした（B）〈人名〉の《シンフォニア》や、日本の伝統楽器と西洋のオーケストラを対峙させた武満徹の《C》や、単純な音素材を反復する（D）などが生み出された。（D）の代表的な作品には、スティーヴ・ライヒの《ピアノ・フェイズ》対応する音源や、（E）〈人名〉の《In C》などが挙げられる。

一般キーワード群

- (ア)11、(イ)12、(ウ)13、(エ)14、(オ)アレルヤ、(カ)イデー・フィクス、(キ)オッフフェルトリウム、(ク)オランダ、(ケ)オルガナム、(コ)カノン、(サ)キリエ、(シ)グレゴリオ聖歌、(ス)コンチェルティーノ、(セ)コンチェルト・グロッツ、(ソ)詩編、(タ)十二音技法、(チ)図形楽譜、(ツ)説教、(テ)総セリー主義、(ト)ソロ・コンチェルト、(ナ)対旋律、(ニ)通常文、(ヌ)通奏低音、(ネ)ドイツ、(ノ)動機労作、(ハ)トーン・クラスター、(ヒ)パッサカリヤ、(フ)フォルテピアノ、(ヘ)福音書、(ホ)フランス、(マ)フロットラ、(ミ)ポリリズム、(ム)マドリガーレ、(メ)ミニマル・ミュージック、(モ)ミュージック・コンクレート、(ヤ)モテット、(ユ)ライトモチーフ、(ヨ)リトルネット、(ラ)リビエーノ、(リ)リュート

作品名群

- (a)アトモスフェール、(b)オテロ、(c)カヴァレリア・ルスティカーナ、(d)カルメン、(e)さまよえるオランダ人、(f)サムソンとデリダ、(g)地平線のドーリア、(h)トリスタンとイゾルデ、(i)鳥は星型の庭に降りる、(j)ノヴェンバー・ステップス、(k)ファルスタッフ、(l)夢遊病の女、(m)ラ・トラヴィアータ

人名群

- (あ)ヴァーグナー、(い)ヴィヴァルディ、(う)ヴェルディ、(え)クセナキス、(お)コレリ、(か)ジャヌカン、(き)シュトックハウゼン、(く)シュニトケ、(け)ジョスカン・デ・プレ、(こ)A. スカルラッティ、(さ)ダウランド、(し)デュファイ、(す)トレリ、(せ)ノーノ、(そ)ハッセ、(た)パーセル、(ち)バード、(つ)パレストリーナ、(て)バンショワ、(と)ビゼー、(な)ブッチーニ、(に)ベリオ、(ぬ)ベルリオーズ、(ね)マシヨ、(の)マレンツィオ、(は)モンテヴェルディ、(ひ)ライリー、(ふ)リゲティ、(へ)ロッシニ

問題B

修士課程で取り組みたいと考えるテーマについて、あなたの専門領域（演奏、創作、研究）と絡ませながら、西洋音楽史の見地から具体的に書きなさい（300～600字程度）。

2025 年度 大学院修士課程 入学試験  
共通科目 西洋音楽史 解答例

問題A 問題文の指示にしたがって以下の空欄にあてはまる記号を記しなさい。

	A	B	C	D	E	対応する音源
問題Ⅰ	ニ	サ	エ	ね	シ	5
問題Ⅱ	ホ	か	ム	リ	さ	9
問題Ⅲ	セ	ト	い	ヨ	又	4
問題Ⅳ	あ	h	ユ	う	m	1
問題Ⅴ	ハ	く	j	メ	ひ	7

問題B 以下の欄に自由に記述しなさい。

略

受験番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

1: 次のバスに基づき、四声体和声を作成しなさい。

2025年度 大学院修士課程入学試験問題  
器楽専攻 伴奏 (初見視奏)

Andante (♩=72)

*mf cantabile*

4 *rit. ----- Allegretto (♩=108)*

*mp*

7 *mf* *f*

11 *mf* *f*

14 *rit. -----* *mf*

Tempo I

18 *mp espress.*

20 *p*

23 *rit. -----* *pp*

2025年度 大学院修士課程 入学試験問題  
作曲専攻 音楽理論 (和声) 180分

次の和声課題 (アルテルネ) を四声体で実施しなさい。

**Andante**

4

7

11

15

**Andantino**

*mf*

19

*f*

24

*mf* *mp*

29

*mf*

2025年度 大学院修士課程 入学試験問題  
作曲専攻 音楽理論 (フーガ) 360分

**Moderato**

↓音価自由

上記の主唱に基づいて、学習フーガ (四声体) の次の部分を作成しなさい。

- ①主要提示部～第1嬉遊部～平行調提示部
- ②追迫部全体 (コーダは任意)

2025年度 大学院修士課程入学試験問題  
作曲専攻 ソルフェージュ (和声) 180分

次のアルテルネ課題を四声体で作成しなさい。

バス課題

Adagio

Musical notation for the bass line exercise. It consists of three staves of music in 3/4 time, key of B-flat major. The first staff starts with a forte (*f*) dynamic. The second staff includes a *dim.* (diminuendo) marking and ends with a mezzo-forte (*mf*) dynamic. The third staff includes a mezzo-forte (*mf*) dynamic and ends with a forte (*f*) dynamic.

ソプラノ課題

Andante

Musical notation for the soprano line exercise. It consists of four staves of music in 3/4 time, key of B-flat major. The first staff starts with a piano (*p*) dynamic. The second staff includes a mezzo-forte (*mf*) dynamic. The third staff includes a piano (*p*) dynamic. The fourth staff includes a forte (*f*) dynamic, a mezzo-forte (*mf*) dynamic, and a mezzo-piano (*mp*) dynamic.

2025年度 大学院修士課程入学試験問題  
作曲専攻 ソルフェージュ (新曲視唱)

Andante ♩ = 120

Musical notation for the second exercise. It consists of seven staves of music in 6/8 time, key of B-flat major. The first staff includes mezzo-piano (*mp*) and piano (*p*) dynamics. The second staff includes a forte (*f*) dynamic. The third staff includes a mezzo-forte (*mf*) dynamic and a mezzo-piano (*mp*) dynamic. The fourth staff includes a forte (*f*) dynamic and a piano (*p*) dynamic. The fifth staff includes a forte (*f*) dynamic, a mezzo-piano (*mp*) dynamic, and a piano (*p*) dynamic. The sixth staff includes a forte (*f*) dynamic and a mezzo-piano (*mp*) dynamic. The seventh staff includes a forte (*f*) dynamic, a mezzo-piano (*mp*) dynamic, and a piano (*p*) dynamic.

**Allegro**

① タイ

② アルペジオの音形

③ 臨時記号

④ リズム

⑤ アーティキュレーション

⑥ アーティキュレーション

⑦ タイ

⑧ 臨時記号

⑨ 臨時記号

⑩ 臨時記号

⑪ バスの音

⑫ 音

⑬ アーティキュレーション

⑭ リズム

⑮ 音

⑯ テンポ変化

⑰ ダイナミック

⑱ 音

⑳ 和音

受験番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

演奏を聴き、楽譜と異なる箇所を指摘しなさい。

**Allegro**

① タイ

② アルペジオの音形

③ 臨時記号

④ リズム

⑤ アーティキュレーション

⑥ アーティキュレーション

⑦ タイ

⑧ 臨時記号

⑨ 臨時記号

⑩ 臨時記号

⑪ バスの音

⑫ 音

⑬ アーティキュレーション

⑭ リズム

⑮ 音

⑯ テンポ変化

⑰ ダイナミック

⑱ 音

⑳ 和音

2025年度 大学院修士課程入学試験問題  
作曲専攻 ソルフェージュ(新曲視奏)

♩=60 ca.

*mp*

Con Ped.

5

*mp* *mf*

8

*rit.* **Meno mosso** (♩=52 ca.)

*f* *ff* *p*

12

*mp* *mf* *f*

16

*p* *mf* *p* *pp* *mp*

19

**Tempo I** (♩=60 ca.)

*f* *mp*

22

*rit.*

*p* *pp*

*8va bassa - - |*

25

*a tempo* *allargando*

*f* *mp* *ff*

2023年度入試の過去問題ですが、参考に掲載します。

2023年度 大学院修士課程入学試験問題  
作曲専攻 ソルフェージュ(新曲視奏)(声楽)

Andante amabile

Musical score for voice, Andante amabile, 2/4 time signature. The score consists of four staves. The first staff starts with a *mp* dynamic and features a melodic line with a *V* (vocal) marking. The second staff continues the melody with a *f* dynamic and includes a triplet of eighth notes. The third staff is marked *a tempo* and features a more rhythmic melody with dynamics *pp*, *f*, *p*, and *mp*. The fourth staff concludes the piece with a *pp* dynamic and a *V* marking.

作曲専攻 ソルフェージュ(新曲視奏) 【模擬問題】

オーボエ  
♩=84 ca.

Musical score for oboe, 2/4 time signature. The score consists of three staves. The first staff starts with a *mp* dynamic and features a melodic line with a *V* marking. The second staff continues the melody with dynamics *f*, *p*, *f*, and *p*, and includes a triplet of eighth notes. The third staff continues the melody with dynamics *mf*, *f*, and *p*, and includes a triplet of eighth notes.

トロンボーン

Allegro

Musical score for trombone, Allegro, 2/4 time signature. The score consists of four staves. The first staff starts with a *f* dynamic and features a rhythmic melody. The second staff continues the melody with dynamics *p*, *sf*, *p*, and *sf*, and includes a glissando marking. The third staff continues the melody with a *f* dynamic and includes a glissando marking. The fourth staff concludes the piece with a *ff* dynamic.

2025年度 大学院修士課程入学試験問題

作曲専攻 ソルフェージュ (小論文) 60分

「ソルフェージュ教育における聴音の役割と目的について」

具体例を挙げながら、あなたの考えを述べなさい。

2025年度 大学院修士課程 入学試験問題

作曲専攻 コンピュータ音楽 (小論文) 90分

1. 電子技術やコンピュータを活用した、歴史的に重要であるとあなたが評価する音楽もしくはアート作品をひとつ取り上げ、技術的、美学的観点などから、その理由を論じなさい。

2. コンピュータ音楽の研究が他の学術分野と交わることで、どのような文化的・社会的価値を生み出す可能性があるか。直近の動向に関して具体例を挙げた上で、今後考えられる展開や課題についてあなたの見解を述べなさい。ただし取り上げる分野は自由とする。

2025 年度 大学院修士課程入学試験問題  
音楽学専攻 楽器・音響（音楽音響学） 90 分

1. 音波をはじめとする 1 次元波形のエネルギーを得るためには、一般に RMS (Root Mean Square) を用いることが多い。

a) 時刻を  $t$  とした場合の波形  $x(t)$  に対する RMS を求める数式を書きなさい。

b) 以下の波形  $f(x)$  に対する RMS 値を求めなさい。

$$f(x) = \{1, 1, 2, 3, 5\}$$

c) b) の RMS 値を求めるコンピュータプログラムソースを書きなさい。プログラミング言語は、matlab, python など自由に選択してよい。選択した言語を明示しなさい。

2. 演奏者の身体動作を計測するためには、筋電信号やモーションキャプチャなどの手段を用いることが多いが、それらを使ってどのような記録が可能となり、記録後にどのような処理を行なうかを説明しなさい。具体的な課題を一つ設定し、測定方法、測定の注意点、分析方法、得られる結果、さらに導かれる結論について述べなさい。文字数の目安は 800 字程度とする。

2025 年度 大学院修士課程入学試験問題

音楽教育学専攻（筆記）90 分

【問題 1】

次の事項から 3 つ選び、音楽教育と関連させて、簡潔に説明しなさい。

1. 令和の日本型教育
2. 学校における働き方改革
3. 文部省唱歌
4. 音楽を形づくっている要素
5. サウンド・スケープ

【問題 2】

現在、学校教育における授業づくりにあたっては、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の要素を一体的に充実していくことが求められています。その趣旨を踏まえた小中学校の音楽の授業について、具体的な学習活動のイメージを例示しながら、あなたの考えを述べなさい。

【問題 3】

図 1 は、日本における 3 つの年齢区分（0～14 歳、15～64 歳、65 歳以上）の人口の推移を、実績値と推定値で示したものである（国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 令和 5 年推計」に基づき作成）。この図 1 のデータを踏まえ、今後の音楽教育のあり方について論じなさい。

図 1. 年齢 3 区分別人口の推移. 2020 年までは実績値. それ以降は推定値で示している.  
(著作権の関係上、図の掲載を控えます。)